

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	平成29年11月30日
発信課 担当者	文化振興課大雪クリスタルホール 花香 純夫
連絡先	電話 69-2000
	FAX 69-2001
	E-mail crystalhall@city.asahikawa.lg.jp

分類	(イベント・行事) 募集 契約・入札 会議・説明会 その他 (該当する分類を囲むこと。)
日程	平成30年1月29日(月) 18:30開演
発表項目 (行事名)	大雪クリスタルホール自主文化事業 ケヴィン・ケナー ピアノリサイタル
概要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>「ショパン国際ピアノコンクール最高位の実力者が贈る究極のオール・ショパン・プログラム!」として、標記ピアノリサイタルを開催します。広く市民への周知のため、報道くださるようお願い致します。</p> <p>日時：平成30年1月29日(月) 18:00開場, 18:30開演 場所：旭川市大雪クリスタルホール音楽堂 曲目：スケルツォ 第3番 嬰ハ短調 Op. 39 バラード 第1番 ト短調 Op. 23 ソナタ 第3番 口短調 Op. 58 ほか (曲目は変更になる場合があります。)</p> <p>料金：一 般 4,000円 65歳以上の方, 各種障害者手帳をお持ちの方 3,500円 小学生から大学生まで 2,000円 ※全席指定, 当日券は各500円増し</p> <p>プレイガイド： カワイ旭川ショップ TEL 22-7461 玉光堂イオンモール旭川駅前店 73-8801 ヤマハミュージックリテイリング旭川店 27-0620 ポテトサービスセンター 67-2277 旭川市民文化会館 25-7331 旭川市大雪クリスタルホール 69-2000</p>
添付資料	(有)・無 (有・無のいずれかを囲むこと。) チラシPDF (裏, 表) ※ 有の場合, 資料の内容を記入すること。なお, 別途冊子等の配付を希望する場合は, その旨記入すること。
報道(取材)に当たってのお願い	チケットの発売開始は11月29日(水)からです。
備考	

旭川市大雪クリスタルホール自主文化事業

# Kevin PIANO RECITAL Kenner

ケヴィン・ケナー  
ピアノリサイタル

ショパン国際ピアノコンクール  
最高位の実力者が贈る  
究極のオール・ショパン・プログラム!



オール ショパン プログラム  
ALL CHOPIN PROGRAM

スケルツォ 第3番 嬰ハ短調 Op.39  
Scherzo No.3 in C-sharp minor Op.39

バラード 第1番 ト短調 Op.23  
Ballade No.1 in G minor Op.23

ソナタ 第3番 ロ短調 Op.58  
Sonata No.3 in B minor Op.58

他 予定

※都合により演奏曲目等が変更になる場合がございます。

2018 1.29 [月] 18:30 開演 [18:00 開場]

旭川市大雪クリスタルホール音楽堂

Monday, January 29th, 2018 at 6:30 PM [Doors open at 6:00PM]

Taisetsu Crystal Hall in Asahikawa City

全指定席 一般 4,000円 / シルバー・ハートフル 3,500円 / 学生(小学生~大学生)2,000円 ※当日券各500円増・ホールメイトは各10%割引となります。

チケット取扱い ◆カワイ旭川ショップ (0166) 22-7461 ◆玉光堂イオンモール旭川駅前店 (0166) 73-8801 ◆ヤマハミュージックリテイリング旭川店 (0166) 27-0620  
◆ポテトサービスセンター (0166) 67-2277 ◆旭川市民文化会館 (0166) 25-7331 ◆旭川市大雪クリスタルホール (0166) 69-2000

主催・チケット予約・お問い合わせ 旭川市大雪クリスタルホール 旭川市神楽3条7丁目 (0166) 69-2000 共催 北海道新聞社旭川支社

●未就学のお子様の御入場はご遠慮願います。無料託児をご利用ください。●託児希望の方は1月17日(水)までにお申し込みください。●車椅子及び介助の必要な方は事前にお申し付けください。  
●無料駐車場があります。●休館日は第2・第4月曜日(この日が祝日の時は翌日)

# Kevin ケヴィン・ケナー Kenner

## KEVIN KENNER PIANO RECITAL

Monday, January 29th, 2018 at 6:30PM  
Taisetsu Crystal Hall in Asahikawa City

「ギリリス以来の暖かく、金色に輝く音色、」

Jacques Drillon - Le Nouvel Observateur

「記憶に残る中で、最も繊細で美しいショパン解釈、」

指揮者 スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ

PHOTO  
©Shawn Clark

### PROFILE

1990年はピアニストケヴィン・ケナーにとって記念すべき年となった。彼の芸術的手腕が3つの名声ある賞の受賞によって世界に認められる年となったからである。その3つとは、ショパン国際ピアノコンクール（ワルシャワ）での最高位（同時に聴衆賞、ポロネーズ賞の受賞）、国際テレンス・ジャッド賞（ロンドン）、チャイコフスキー国際コンクール（モスクワ）での銅賞の受賞（同時にロシア作品最優秀演奏賞受賞）である。それに先立つ1988年にはジーナ・パッカウアー国際ピアノコンクール（ソルトレイクシティ）や1989年ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール（フォートワース）でも輝かしい成績を残した。

ソリストとして、ハレ管弦楽団、BBC交響楽団、ベルリン交響楽団、ワルシャワ・フィルハーモニー、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ベルギー放送フィルハーモニー管弦楽団、NHK交響楽団等の世界的に著名なオーケストラ、また米国ではサンフランシスコ、カンザス、ニュージャージー、ローチェスター、ボルティモア他多数の主要オーケストラと共演を果たしている。また、チャールズ・グローヴズ、

アンドリュー・デイヴィス、ハンス・フォンク、スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ、イエジー・マクシミウク、カジミエシュ・コルト、イルジー・ピエロフラーヴェク、アントニ・ウィット等著名指揮者との共演も数多い。

近年の主な活動として、フランス・ブリュッヘンと18世紀オーケストラの共演、Ensemble XIXとの演奏及び録音、1826年のグラフを用いてパリのシテ・ド・ラ・ミュージックでのショパン作品リサイタル、またパデレフスキ生誕150周年の記念コンサート及び録音、日本、米国、メキシコ、カナダ、ドイツ、フランス、イギリス、ポーランドでの演奏ツアー等が挙げられる。

録音も数多く行っており、ショパン、ラヴェル、シューマン、ベートーヴェン、ピアソラと多岐に渡る。近年ポーランドで室内楽カテゴリーにおいて最優秀賞の“フレデリック賞”を授与された。またピリオド楽器にも造詣が深く、1848年のブレイエルを用いて国立ショパン研究所のレーベルで録音したショパンのソルビエ作品集はフランスのディアパソン誌に

て5つ星を獲得した。今後、ワーナー・クラシックスより、オール・ショパン・プログラム、ジョン・キヨンフ氏とのデュオ、そしてワルシャワでパデレフスキ自身のスタインウェイピアノを用いて録音した彼のソルビエ作品集の3枚の新譜を発表予定。

2011年以降、ヴァイオリニストジョン・キヨンファからの熱烈なオファーを受け彼女の10年ぶりとなる活動始動に伴いデュオパートナーとして世界ツアーに参加。“美しく穏やかな真珠のような響きを放つピアノイズム”（英・テレグラフ紙）と絶賛されるなど、キヨンファのヴァイオリンを引き立てつつ存在感を放つアンサンブルは彼の高度な美的音楽性を聴衆に再認識させている。

英国王立音楽大学教授を経て、2015年9月より米国マイアミ大学フロスト音楽校教授。近年では、第17回ショパン国際ピアノコンクールに参加したチョ・ソンジンからの依頼によりコンクール直前に集中レッスンをを行い、見事優勝に導いたことで、ケナーの教育者としての手腕が改めて認められた。